

# 目 次

はじめに	1
<b>第Ⅰ部 サブカルチャー教材を用いた授業の可能性</b>	
序 章 サブカルチャー教材による国語科授業開発の課題と方法	3
第1節 なぜサブカルチャーを取り上げるのか	3
第2節 境界線上の教材開発論—サブカルチャーの教材価値を探る	9
第3節 サブカルチャー教材による授業開発に向けて—学習者の興味・関心の喚起を目指すために	17
第1章 サブカルチャー教材の可能性	25
第1節 国語科におけるサブカルチャー教材の可能性を探る—教育現場へのアンケート調査に即して	25
第2節 サブカルチャー教材による授業開発—メディア・リテラシーの授業論とからめて	46
第2章 国語科の授業開発の可能性—学習者の興味・関心喚起の方略を求めて	56
第1節 国語教育のインタラクティブ—授業活性化への一視点	56
第2節 作文指導の戦略—書くことへ向かう意志を育てる	63
第3節 大学における「国語表現」の授業構想—サブカルチャー教材の可能性を探るために	73
第4節 声の復権と国語教育の活性化	86
第5節 授業のシステムとルールを創る	97
<b>第Ⅱ部 サブカルチャー教材開発と授業開発</b>	
第3章 漫画（静止画）系列サブカルチャー教材化とその実践	107
第1節 国語科教材としての漫画—その可能性を探る	107
第2節 教室で「童夢」を読む—ストーリー漫画教材化の試み	115
第3節 『プチ哲学』の表現指導	122
第4節 絵画・写真を用いた表現指導の展開—見ることから書くことへ	128
第4章 映像・アニメーション系列サブカルチャー教材化とその実践	139
第1節 映像を用いた国語教育—映画とテレビドラマの教材化	139
第2節 言語と映像の接点を探る—国語科メディア・リテラシー教育の一環として	144
第3節 アニメーションを用いた授業の創造	149
第5章 音楽・ゲーム系列サブカルチャー教材化とその実践	157
第1節 歌詞を用いた授業—単元「日本のうた」の実践	157
第2節 音楽を取り入れた授業の創造	166
第3節 「子ども文化」からの出発—「ドラゴンクエストⅣ」を用いた表現指導の試み	174
第4節 国語科で創作をどう扱うか—テレビゲームの教材化	188

第6章	その他系列のサブカルチャー教材化とその実践	204
第1節	「交流作文」の可能性を探る—高・大連携の実践に即して	204
第2節	傷は癒されるか—村上春樹『アンダーグラウンド』の授業	216
第3節	中学生と演劇を楽しむ	225
第7章	「文化」と「ことば」を結ぶために	238
第1節	新しい言語単元の可能性を探る—単元「ことばと文化」の実践に即して	238
第2節	漢字・語彙指導の工夫—「ワード・フレーズハンティング」を通して	250
<b>第Ⅲ部 研究の成果と課題</b>		
終章	学習者の興味・関心喚起の方略の提案	257
第1節	サブカルチャー教材論—サブカルチャーの教材価値をめぐって	257
第2節	サブカルチャーによる授業開発論—今後の可能性を探る	262
第3節	サブカルチャー教材を用いた国語科カリキュラム構築のために	269
第4節	これからの研究の課題	278
おわりに		281
初出一覧		
主要参考文献一覧		